

## 第2類医薬品

服用に当たって、この説明文書を必ずお読みください。  
必要なときに読めるように、大切に保管してください。

# 救風ゴールドDX(かぜ薬)

かぜの諸症状には、発熱・悪寒・頭痛・鼻水・鼻づまり・くしゃみ・のどの痛み・せき・たん・関節の痛み・筋肉の痛みなどがあります。救風ゴールドDXは、これらの症状に有効な各種の成分を配合した総合かぜ薬です。

解熱効果にすぐれた動物性生薬のゴオウと地竜をはじめ、非ピリン系解熱鎮痛剤、鎮咳剤、気管支拡張剤、抗ヒスタミン剤などを配合し、かぜの諸症状の緩和にすぐれた効果をあらわします。

### 特長

- 解熱作用生薬のゴオウと地竜を配合
- ゴオウはかぜ薬基準満量配合
- すぐれた解熱・鎮痛作用
- せきを止める作用がすぐれている
- 胃粘膜保護剤を配合して胃にやさしい



### 使用上の注意



#### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

#### 1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

#### 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬）

#### 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと（眠気があらわれることがある。）

#### 4. 服用時は飲酒しないこと

#### 5. 長期連用しないこと



#### 相談すること

#### 1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (7) 次の症状のある人。 高熱、排尿困難
- (8) 次の診断を受けた人。 甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

#### 2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること。)
ぜんそく	

(2)5~6回服用しても症状がよくなる場合  
**3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること**  
 便秘、口のかわき

**効能又は効果**

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

**用法及び用量**

食後なるべく30分以内に服用してください。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人(15才以上)	2カプセル	3回
7才以上15才未満	1カプセル	
7才未満	服用しないでください。	

**<用法及び用量に関連する注意>**

- (1)用法及び用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)カプセルの取り出し方  
 右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。（誤ってそのまま飲み込んだりしますと食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



**成分及び分量 1日量(6カプセル)中**

成 分	分 量	は た ら き
ゴオウ	20mg	ウシの胆嚢もしくは胆管中に生じたもの。主成分はピリルビン系色素、胆汁酸で、解熱に効果があります。
地竜乾燥エキス	129mg (原生薬換算量 993.3mg)	解熱作用のある動物性の生薬です。
アセトアミノフェン	600mg	非ピリン系。熱や痛みの中枢に作用し、解熱・鎮痛効果をあらわします。
マレイン酸クロルフェニラミン	7.5mg	鼻・のど等にかかる炎症を抑え、鼻水、鼻づまり、くしゃみ等を抑えます。
リン酸ジヒドロコデイン	24mg	せきの中枢に働いて、すぐれたせき止め効果をあらわします。
dl-塩酸メチルエフェドリン	60mg	気管支をひろげ、激しいせきをすずめ、のどを楽にします。
無水カフェイン	75mg	脳の血管に働いて、頭痛をやわらげます。
酸化マグネシウム	140mg	胃酸を適度に調整し、胃の粘膜を保護します。

添加物として、バレイシヨデンブシ、炭酸Ca、ステアリン酸Ca、ゼラチン、酸化チタン、三二酸化鉄、マクロゴール、ラウリル硫酸Na、ステアリン酸Mgを含有します。

**保管及び取扱い上の注意**

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2)小児の手のとどかない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れかえないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4)期限を過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせは  
 常盤薬品工業株式会社  
 お客様相談室 ☎0120-875-710まで  
 受付時間 9:00~17:00 (土、祝日を除く)  
[www.kusuribako.jp](http://www.kusuribako.jp)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先  
 (独)医薬品医療機器総合機構  
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
 ☎0120-149-931

**製造販売元**  
**常盤薬品工業株式会社**  
 大阪市中央区安土町3-5-12  
**NOEVIR GROUP**  
 常盤薬品はノエビアグループです。